

富に関する教え② 悪しき管理人の譬え(2)

ルカの福音書16:1-13
2013,6,30 HKJCF

概観

序)①富に関する教え②聖書解釈の課題

- 1、譬えの解釈法
- 2、神の国の到来に備える
- 3、神の国のために富を用いる
- 4、神か富かを選択する

適)私たちはこの世にあって主とより親しくなり、主において人々とより親しくなるためにどんな一歩を踏み出すべきでしょうか？

I 譬えの解釈法

- 1、前後関係と対象
 - 2、聖書全体の用例
 - 3、中心的意味
 - 4、福音による吟味
 - 5、神の国の譬えとの比較
- ⇒①譬え：直喩・隠喩・象徴等
- ②道徳的解釈・神秘的解釈・現実的解釈から福音的解釈へ③中心的意味が重要

II 神の国の到来に備える

- 1、新しい時代の到来と管理人の抜け目のない対応：自己認識と関係づくり
 - 2、主人の高い評価：生き残りの一点から
 - 3、変化と生き残り(サバイバル)への集中
- ⇒新時代(神の国)に備えることへ集中
- マルコ1:15
- ⇒新しいブドウ酒と皮袋
- ルカ5:36-39

III 神の国のために富を用いる

- 1、小さな事・不正の富・他人のもの：この世の生活と富
 - 2、大きな事・まことの富・あなた方のもの：天国での生活と富(永遠の住まい)
 - 3、忠実さ：真面目さより目的への集中
 - 4、不正の富で友を作る：天国への保証
- ⇒友となられたキリストと主にある友
- ヨハネ15:13,15 マタイ25:31-46
- ⇒この世の生活を通し、主と親密になる

IV 神か富かを選択する

- 1、神の国と地上の富は両立しない：献身＝選択(神も富も献身を求める)
 - 2、礼拝・献身・価値観の転換
- ⇒ロマ12:1-2
- 3、神の国を目的としてこの世を生きる
- ⇒神の国に軸足 愛の関係>富・能力
- 勝海舟・福沢諭吉・新島謙
セル・LOVE HK WEEK・ワト